

いっしょに防災をまなぼう!

加され、他にも地域の方々やスタッフ23人とともに防災について考えるという「地域ぐるみ」で防災を考えるよい機会となりました。



伊賀市主催の「地域で見守りおやこ防災事業」が、7月3日(日)午後、柘植地区市民センターで開催されました。14組の親子(大人18人、子ども19人)が参

出時に持ち歩く「ママバッグ」の工夫や乳幼児の応急手当など、たいへん具体的で実用的な内容でした。休憩時には非常食の試食を行いました。後半は、「ケスゾウとシヨウコ」の防災ブック、最後に地域別に3グループ



民生児童委員代表の植木義信さんの挨拶の後、消防団女性部の方から、実物や資料をいろいろと示していただきながら、防災や災害時の知恵を学びました。普段子どもとの外



に分かれて民生委員やまち協スタッフとともに保護者が話し合うグループワークを行い、身近なところでの防災について、じっくりと話し合うことができました。この経験を地域の防災力アップにつなげていきたいものです。

お願い 「防災マップ」作成のための写真撮影について

柘植小・中学校の子どもたちが夏休みを利用して、通学路を主体とした「防災マップ」を作成します。各区地区委員・各区防災担当者と一緒に区内を調査する際に、屋根瓦やブロック塀等の軒先の危険箇所を写真撮影することがありますのでご理解し「承を宜しく」お願い致します。

自主防災実行委員会

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)
伊賀市柘植町一〇六四七番地
〒五一九一四〇二
電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三
発行日 二〇一六(平成二十八年)七月十五日(金)



健康づくり講演会

健康の駅長

7月2日(土)午後、市民センターで20名が参加し、「やさしい気功教室」が開催されました。

気功お伝え手藤田雅子先生に気功について、また人の治癒力について、分かりやすく楽しく指導をして頂きました。

当日は参加者の皆さんでペアになり、肩から足の裏までじっくりと疲れを癒しあいました。

笑い声が飛びかい、皆さん心と体をリフレッシュ出来て、有意義な時間を過ごしたようです。



玉滝地域の

エゴマ栽培の取組みに学ぶ



葉はシソに似る。油は、αリノレン酸豊富な高級品。

特産品創出実行委員会

7月1日(金)夜、

「玉瀧・槇山のみんなでエゴマを作る会」と当委員会で交流をしました。

「エゴマを作る会」

は、今年度柘植地域と同様に、伊賀市地域活動支援事業を受けており、コミュニティビジネスという同じ目標で取り組んでいます。事業名も「小さなエゴマから健康で健全な人と地域を創出する事業」といい、「農地の活用」・「コミュニティビジネス」・「内職的産業」をめざしています。

栽培から製品化、そして販売までを8名のスタッフで取り仕切



り、今年は研修生を受け入れるなど、後進の指導にも熱が入っています。玉瀧地域まちづくり協議会の産業振興部会が発元にはあったとのことですが、現在は独立した取り組みとなっているようです。

今回の視察交流を通じて、当実行委員会においても、各種作業の労働賃金単価を決めるなどとして、ビジネスとして通用する黒豆づくりをめざしていきたいと考えています。

年末の黒豆購入の事前予約を受け付け始めました。別紙の各戸配付をご覧の上、まちづくり協議会事務局特産品創出事業係までご連絡ください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

峠の下り方を見出そう!

伊賀流自治の研修会

7月4日(月)午後、ハイトピアいで、市主催の研修会に6名のまち協運営委員が参加しました。

「住民自治のしくみ『これまで』と『これから』」地域の総合的な自治力を高める」と題して、岩崎さん(写真)からお話を伺いました。

国勢調査の結果から、日本にとって1995年から2020年あたりが歴史の大転換点であることを、生産者年齢人口、総人口、世帯数の各ピークを示された上

で、今後、高齢単身者が増加することが社会の大前提であると説明されました。そうした状況を考えると、たとえば地域の共益的事業(出合)などが立ち行かなくなる時代になっていくのです。



四日市大学の岩崎恭典さん

日本は世界でもっとも急速な勢いで高齢化人口減少が進んでいる国家です。世界中を探しても前例がありません。 「だれか(行政)がやってくれる」という意識のままでは、コミュニティを維持していけなくなるのです。 人間の意識は変え難く、人生を「右肩上がり」の時代に過ごしてきた人の多くは、そのことがなかなか承知できないといわれます。科学的な現状認識により、地域のみんなで「峠を下っていく」方法を考え実行していく必要があります。

約4時間、手軽で 楽しく本格的な山歩き

7月10日(日)、余野公園保勝会が主催して、奥余野森林公園駐車場で約65名余りの参加のもと、「山開き・登山道安全祈願祭」が開催されました。

初めに今年も本格的な登山シーズンを前にしての安全を祈願して「山開き」神事が行われました。

「山開き」神事後、恒例の「マスの放流・つかみ取り」を地元小学生が楽しみました。

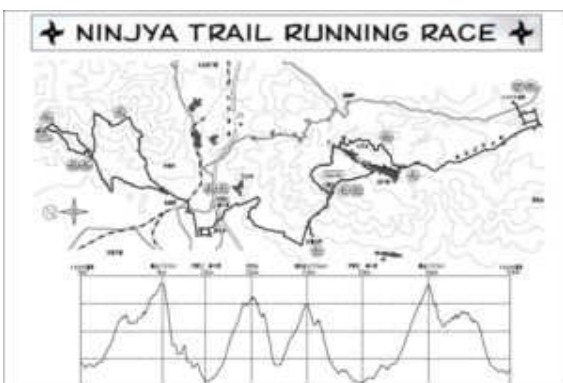
また、第6回となる「山開き登山」には、女性2名男性5名と東海自然歩道パトロール隊員3名、合計10名で、「森林公園」そとろそろ峠、北打山、旗山、熊鷹神社、森林公園」のルートで登山を楽しみました。

余野公園保勝会



拓植地域の霊山、奥余野を巡る 忍者トレイルランニングレース 11月開催決定!

さるびの温泉(阿波)を出発して東海自然歩道を通り、霊山、拓植、奥余野を往復する忍者トレイルランニングレースが11月6日(日)に計画されています。 その伊賀トレイルランナーズクラブ事務局メンバーが、6月某日、地域貢献としてコースとなる林道や登山道等の清掃活動をしていただきました。その結果の一部ですが、写真のように軽トラ4台分のゴミが集まりました。



このレースを拓植地域まちづくり協議会ならびに余野公園保勝会も後援し、地域の貴重な自然財産を守りつつ、積極的な活用を進めていきたいと考えています。

祝出場



**のど自慢に加えて
地域の自慢です!**

わがまちの柘植保育園

7月3日、全国に力強い歌とダンスを披露した柘植保育園保育士5人組「ニンジャーズ」。約850通の応募から予選を突破し本選のトップバッターで出場し、地域に「勇気」をいっぱい届けてくれました。

応募するきっかけは、「みんなで出たらいいやん」という岡島園長先生の力強くあたたかい呼びかけからでした。

2つの保育園が統合し、4月から新

しい柘植保育園として、保護者も子どもも職員も不安な気持ちからスタートしました。

今回の「のど自慢」出場を通して、職員が一丸となって一生懸命取り組むことで保護者の方や子どもたちに安心していただく一歩になればうれいです。

これを機に今まで以上に強まった職員同士の絆を大切にし、子どもたちには毎日来たくなるような楽しい保育園であること、保護者の方々には、毎日安心して預けていただけるような保育園であるように、柘植保育園の職員一同一致団結していきます。地域の皆様、これからも応援よろしく願います。

(柘植保育園職員一同)

お知らせ

第2回

まちづくりいふれあいデー

8月7日

**お互いに交流を深め、
つながり合う機会に**

とき

8月7日(日) 早朝〜15時

ところ

市民センター・都美恵神社・柘植小学校(運動場・体育館)等周辺

プログラム

6時30分〜

みんなのラジオ体操会

7時〜午前中

地元産業フェア

各種プロの出店

新鮮野菜市

フリーマーケット

フリーステージほか

並行して、

ニユースポーツミニ大会

グラウンドゴルフ・ディスクゴルフ

お昼前には、

ミニ防災避難訓練

昼過ぎからは、

サロン

「将来の柘植地域のために」



現在、各種参加者・参加団体を募集中です。詳しくは別紙回覧をご覧ください。当日の詳しいプログラムは8月1日配布でお届けします。